

# WOWOW 2019年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年10月31日

上場会社名 株式会社 WOWOW

上場取引所 東

コード番号 4839 URL <https://www.wowow.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 晃

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 IR経理局長 (氏名) 尾上 純一

TEL 03-4330-8097

四半期報告書提出予定日 2018年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	40,684	1.2	4,155	28.7	4,454	28.3	3,064	28.5
2018年3月期第2四半期	40,204	2.5	5,824	12.6	6,211	12.3	4,285	12.0

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 3,507百万円 (21.1%) 2018年3月期第2四半期 4,445百万円 (33.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	113.55	
2018年3月期第2四半期	158.77	

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	92,307	56,343	61.0
2018年3月期	87,083	54,994	63.2

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 56,343百万円 2018年3月期 54,994百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		0.00		80.00	80.00
2019年3月期		0.00			
2019年3月期(予想)				80.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	83,300	2.1	6,600	33.2	7,100	33.6	5,000	32.1	185.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期2Q	28,844,400 株	2018年3月期	28,844,400 株
期末自己株式数	2019年3月期2Q	1,853,318 株	2018年3月期	1,853,318 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期2Q	26,991,082 株	2018年3月期2Q	26,991,227 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信(添付資料)2ページ「経営成績に関する説明」及び4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算短信補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について)

当社は2018年10月31日(水)に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催いたします。当日使用する四半期決算説明資料は、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	10
3. 補足情報	11
(1) 販売の状況	11
(2) 四半期個別業績情報 (参考)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移しているものの、海外の政治、経済動向に懸念が残るなど、先行き不透明な状況が続いております。

このような経済環境下、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、有料放送収入の増加や、テレマーケティング事業における外部売上の増加などにより、売上高は406億84百万円と前年同期に比べ4億79百万円(1.2%)の増収となりました。営業利益は番組費が前年同期に比べ増加したことなどにより、41億55百万円と前年同期に比べ16億68百万円(△28.7%)の減益、経常利益は44億54百万円と前年同期に比べ17億56百万円(△28.3%)の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は30億64百万円と前年同期に比べ12億20百万円(△28.5%)の減益となりました。

各セグメントの状況は次のとおりです。

<放送>

有料放送収入が増加したことなどにより、売上高は385億71百万円と前年同期に比べ2億43百万円(0.6%)の増収、セグメント利益は番組費が前年同期に比べ増加したことなどにより、40億3百万円と前年同期に比べ18億18百万円(△31.2%)の減益となりました。

また、当第2四半期連結累計期間の加入状況は次表のとおりとなりました。

(単位：件)

	第34期第2四半期	第35期第2四半期	対前年同期差	対前年同期増減率
新規加入件数	242,445	346,967	104,522	43.1%
解約件数	246,584	289,752	43,168	17.5%
正味加入件数	△4,139	57,215	61,354	—
累計正味加入件数	2,819,046	2,933,617	114,571	4.1%
内) 複数契約(注)1	420,021	417,891	△2,130	△0.5%
内) 宿泊施設契約(注)2	13,193	61,512	48,319	366.2%

(注)1. 同一契約者による2契約目と3契約目については、月額2,300円(税抜)の視聴料金を900円(税抜)に割引しており、当該割引の対象となる契約を「複数契約」と呼称しております。

2. 宿泊施設の客室で視聴するための宿泊施設事業者との契約については、視聴料金を個別に定めており、当該契約を「宿泊施設契約」と呼称しております。

<テレマーケティング>

既存外部顧客からのテレマーケティング業務の受注などの増加による外部売上の増加や、セグメント間の内部売上の増加により、売上高は42億62百万円と前年同期に比べ6億81百万円(19.0%)の増収、セグメント利益は1億52百万円と前年同期に比べ1億15百万円(315.0%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は923億7百万円となり、前連結会計年度末に比べ52億23百万円の増加となりました。主な要因は、流動資産で有価証券が減少しましたが、流動資産で現金及び預金、番組勘定が増加したことによるものです。

(負債)

負債は359億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ38億74百万円の増加となりました。主な要因は、流動負債で未払法人税等が減少しましたが、流動負債で買掛金が増加したことによるものです。

(純資産)

純資産は563億43百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億48百万円の増加となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び剰余金の配当によるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ2.2ポイント下り、61.0%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)の期末残高は、前連結会計年度末に比べ33百万円減少し、239億58百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果得られた資金は36億88百万円(前年同期比3億82百万円増)となりました。主なプラス要因は、仕入債務の増加額55億26百万円、税金等調整前四半期純利益44億28百万円及び減価償却費12億45百万円の計上等であり、主なマイナス要因は、たな卸資産の増加額52億79百万円及び法人税等の支払額20億32百万円等です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果使用した資金は18億28百万円(前年同期比30億1百万円減)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出14億55百万円等です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果使用した資金は22億9百万円(前年同期比53百万円減)となりました。主な要因は、配当金の支払額21億59百万円等です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年5月15日に公表した連結業績予想の修正は行っておりません。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には、当第2四半期連結会計期間末において以下の事項があります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

- ① 加入者獲得・維持に関わるリスク
- ② 加入代理店等に関わるリスク
- ③ B S (放送衛星) 利用に関わるリスク
- ④ 当社の地上設備に関するリスク
- ⑤ B-CASカードのセキュリティーに関わるリスク
- ⑥ コンテンツに関わるリスク
- ⑦ 映画製作・配給投資に関わるリスク
- ⑧ 著作権などの知的所有権に関わるリスク
- ⑨ 放送関連法制度に関わるリスク
- ⑩ 加入者の個人情報保護に関わるリスク
- ⑪ 為替レートの変動に関するリスク

各リスク項目の詳細につきましては、2018年3月期決算短信(2018年5月15日提出)添付資料4ページの「1. 経営成績・財政状態に関する分析 (4) 事業等のリスク」をご覧ください。当社決算短信は、次のURLからご覧いただくことができます。

(当社ウェブサイト(IR情報))

<https://corporate.wowow.co.jp>

(東京証券取引所ウェブサイト(上場会社情報検索ページ))

<https://www.jpx.co.jp/listing/co-search/index.html>

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,371	25,435
売掛金	5,787	5,287
有価証券	12,000	—
商品及び製品	36	81
番組勘定	23,173	28,382
仕掛品	12	19
貯蔵品	31	35
その他	2,525	2,423
貸倒引当金	△175	△149
流動資産合計	56,761	61,515
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,892	4,721
機械及び装置(純額)	2,706	2,378
工具、器具及び備品(純額)	644	601
建設仮勘定	1,870	1
その他(純額)	67	52
有形固定資産合計	7,180	7,755
無形固定資産		
借地権	5,011	5,011
のれん	741	707
その他	4,174	4,100
無形固定資産合計	9,927	9,819
投資その他の資産		
投資有価証券	10,385	10,519
繰延税金資産	1,859	1,636
その他	1,056	1,087
貸倒引当金	△87	△27
投資その他の資産合計	13,213	13,216
固定資産合計	30,321	30,791
資産合計	87,083	92,307

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	20,465	26,130
未払法人税等	2,126	1,492
賞与引当金	123	145
その他	6,515	5,278
流動負債合計	29,231	33,047
固定負債		
退職給付に係る負債	1,788	2,201
その他	1,068	714
固定負債合計	2,857	2,916
負債合計	32,088	35,963
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	2,738	2,738
利益剰余金	49,741	50,647
自己株式	△3,081	△3,081
株主資本合計	54,398	55,303
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	816	835
繰延ヘッジ損益	△219	204
その他の包括利益累計額合計	596	1,039
純資産合計	54,994	56,343
負債純資産合計	87,083	92,307



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	40,204	40,684
売上原価	21,448	23,559
売上総利益	18,755	17,125
販売費及び一般管理費	12,931	12,969
営業利益	5,824	4,155
営業外収益		
受取利息	9	16
為替差益	105	190
持分法による投資利益	230	38
その他	40	54
営業外収益合計	386	300
営業外費用		
その他	0	1
営業外費用合計	0	1
経常利益	6,211	4,454
特別利益		
固定資産売却益	2	—
特別利益合計	2	—
特別損失		
固定資産除却損	30	19
ゴルフ会員権評価損	—	7
特別損失合計	30	26
税金等調整前四半期純利益	6,183	4,428
法人税、住民税及び事業税	1,896	1,424
法人税等調整額	1	△61
法人税等合計	1,898	1,363
四半期純利益	4,285	3,064
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,285	3,064

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	4,285	3,064
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	131	18
繰延ヘッジ損益	9	307
持分法適用会社に対する持分相当額	20	117
その他の包括利益合計	160	443
四半期包括利益	4,445	3,507
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,445	3,507

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	6,183	4,428
減価償却費	1,585	1,245
のれん償却額	33	33
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	55	△85
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△8	21
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	52	413
受取利息及び受取配当金	△36	△43
為替差損益 (△は益)	△6	△410
持分法による投資損益 (△は益)	△141	52
固定資産除却損	30	19
固定資産売却損益 (△は益)	△2	—
ゴルフ会員権評価損	—	7
売上債権の増減額 (△は増加)	△73	501
前受収益の増減額 (△は減少)	411	△308
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△12	△5,279
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,843	5,526
未払消費税等の増減額 (△は減少)	687	△374
その他の資産の増減額 (△は増加)	△664	308
その他の負債の増減額 (△は減少)	△540	△382
その他	4	4
小計	4,712	5,677
利息及び配当金の受取額	36	43
法人税等の支払額	△1,442	△2,032
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,306	3,688
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,324	△1,456
定期預金の払戻による収入	1,324	1,454
有形固定資産の取得による支出	△356	△1,455
有形固定資産の売却による収入	2	—
無形固定資産の取得による支出	△357	△370
投資有価証券の取得による支出	△1,192	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△2,982	—
貸付けによる支出	△200	△0
貸付金の回収による収入	220	0
敷金及び保証金の差入による支出	△1	△0
敷金及び保証金の回収による収入	1	0
その他	34	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,829	△1,828
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△102	△49
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△2,159	△2,159
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,262	△2,209
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	315
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,784	△33
現金及び現金同等物の期首残高	24,157	23,991
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,372	23,958

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(退職給付債務の計算方法の変更)

当社は、退職給付債務の計算方法について、従来まで期末自己都合要支給額を退職給付債務とする簡便法によっておりましたが、対象従業員数が300人を超えたため、第1四半期連結会計期間より原則的な方法に変更しております。この結果、従来の方法によった場合と比べ当第2四半期連結会計期間末における退職給付に係る負債が3億52百万円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期利益は3億52百万円減少しております。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額
	放送	テレマーケティング	計		
売上高					
外部顧客への売上高	38,554	2,129	40,684	—	40,684
セグメント間の内部売上高又は振替高	16	2,132	2,148	△2,148	—
計	38,571	4,262	42,833	△2,148	40,684
セグメント利益	4,003	152	4,155	—	4,155

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(1) 固定資産に係る重要な減損損失

該当事項はありません。

(2) のれんの金額の重要な変動

該当事項はありません。

(3) 重要な負ののれん発生益

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 販売の状況

当第2四半期連結累計期間における売上高実績をセグメントごとに示すと、次のとおりです。

セグメントの名称	売上高 (百万円)	対前年同四半期増減率 (%)
放送	38,554	0.6
テレマーケティング	2,129	13.3
合計	40,684	1.2

- (注) 1. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。  
 2. セグメント間の取引については相殺消去しております。  
 3. 放送セグメントには有料放送収入35,081万円を含んでおります。

(2) 四半期個別業績情報 (参考)

① 個別経営成績 (累計) ・ 個別財政状態

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	35,834	0.7	3,869	△31.3	4,319	△27.3	3,016	△26.4
2018年3月期第2四半期	35,579	△1.6	5,632	8.1	5,939	6.1	4,100	6.2

	総資産		純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期第2四半期	84,016	49,982		
2018年3月期	78,753	48,800		

(注) 個別経営成績 (累計) ・ 個別財政状態の数値は、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

② 2019年3月期の個別業績予想

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
2019年3月期	73,000	1.1	6,500	△36.3	4,600	△34.5	170.43

(注) 当四半期における業績予想の修正はありません。